

高校生と取り組む『SDGs ローカライズ(自分ごと化)プログラム』

NPO 法人うべ環境コミュニティ 副理事長 津島 榮

当法人では、山口県立宇部工業高等学校と協働で、宇部市小野地区の繁茂した竹林の整備を通じた ESD(持続可能な開発のための教育)を実践し、SDGs ローカライズ(自分ごと化)プログラムに取り組みました。(山口県ひとつづくり財団環境活動団体支援事業)

【学習の目的、ねらい】

繁茂した竹林を見て⇒持続との視点で考え⇒改善を計画し⇒実践し⇒有効性を確認するプロセスを通して ESD 能力を育む

| プロセス | プロセスの概要・目的 | 育まれる能力 | | | | | | |
|--------------------|----------------------------|----------|-----------------|-----------|------------|-------------|------------|------------|
| | | ①批判的に考える | ②未来像を予測して計画を立てる | ③総合的に考える力 | ④多面的、行いうる力 | ⑤コミュニケーションを | ⑥他者と協力する態度 | ⑦進んで参加する態度 |
| 学習前能力評価 | 学習前ESD能力自己評価 | | | | | | | |
| 見る | 繁茂竹林の実態把握 | ○ | | ○ | | | | |
| 考える | 持続・生物多様性との視点で考え、問題を明らかにする。 | ○ | | ○ | | | | |
| 計画する | 改善計画を策定する | | ○ | | ○ | ○ | | |
| 実行する | 計画を実行する | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 有効性を確認する | 問題が解消されるか検証する | | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 学習後能力評価 | 学習後ESD能力自己評価 | | | | | | | |
| 必要により学習プログラムの変更・修正 | | | | | | | | |



整備計画を策定している様子



竹林での伐採作業の様子



整備が終わった竹林

【SDGs ローカライズ(自分ごと化)】

SDGs は、国連にて採択された、国連レベルの開発目標です。この国連レベルの開発目標の達成に貢献するためには、国連レベルの開発目標を私たち個々のレベルの目標に自分ごと化(ローカライズ)し、この目標を達成するための自身の選択、活動・行動、サービスの為のガイドラインを設定し、遵守する必要があります。本プログラムはこの選択、活動・行動、サービスのガイドラインを策定し、実践することにより、自身が行動変革し、SDGs 達成に貢献しようとするものです。

『自分ごと化カード』
プログラム終了後に生徒たちが感じた事や考えた事をまとめて作成したもの
の携帯できるサイズで作成して生徒に配付

2019年度 ESD 研修会 反省会 (申込み不要)

日時：令和2年3月21日(土) 15:00~17:00
 場所：宇部市立図書館 2階 講座室
 第一部 ESD フォローアップ事業報告
 第二部 特別講演「多世代の市民を巻き込む企画の工夫
 ~図書館を人づくり・まちづくりの核に~」
 山本 安彦 さん(山陽小野田市図書館長)

持続可能な社会づくりに向けた図書館の活用例を参考に、今後のESDの推進について議論します。

参加無料



出張おそうじ隊

中川河口ヨシ原のごみ回収
 3月8日(日)13:00~
 中川ポンプ場南側駐車場集合
 問合せ 0836-39-8110
 (宇部市まちなか環境学習館)

回収地点では、川に捨てられたごみが長年に渡り大量に堆積しています。中でもプラスチックごみは、放置することにより紫外線などの影響を受け、マイクロプラスチックとなり海に流れ出してしまう事が懸念されます。早急な回収が必要です。詳細は「うべっくる」ブログをご参照ください。
http://ubekuru.com/blog_view.php?id=5333
 末尾数字を変える事により更に詳しくご覧いただけます。 5328 5329 5330 5331



宇部市環境学習ポータルサイト
 「うべっくる」
 うべっくる 検索
<http://www.ubekuru.com>

まちなかおそうじ隊
 3月29日(日)15:00~
 まちなか環境学習館前集合
 申込不要
 学習館では、学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。おそうじ後は、お茶会でホッとひと息♪

初参加大歓迎!

『ごみ袋有料化の経緯と

すぐにできる家庭での対策』

宇部市廃棄物減量等推進審議会会長 関根雅彦

宇部市では指定袋導入などで平成15年までに141g/人・日のごみ減量に成功しましたが、その後はあまり減っていません。平成30年の総排出量は1008g/人・日で、令和3年の目標840gの達成は難しい状況です。

この度のごみ袋有料化は、排出量に応じて処理費の一部を市民が負担する仕組みを導入することで、費用負担の公平性と排出抑制意識の向上、ならびに処理施設更新費用の節減を図るものです。審議会の答申額が採用されれば、ごみ袋1Lあたり1円となります。これは、各地の実績データから目標の達成を期待できる最低額を設定したもので、確実な削減を目指すなら1.5円でもよいぐらいなのです。

実は宇部の収集ごみ量は全国平均よりやや少なめです。事業系ごみを含む直接搬入量が多いために平均を上回っているのです。このため私は、宇部市民はもう十分頑張っていると考えていました。しかし昨夏先進地を見学し、考えを改めました。ある町では燃えるごみを全国平均の4割とし、有志の人たちはその1/3にまで減量していたのです。

そこでは袋は2円/Lと高額にする一方、各所にリサイクル拠点を常設して収益は地元還元するなど、分別したくなる仕組みを徹底していました。やり方次第でもっと削減できると再認識したのです。

今回の答申では、ごみ袋有料化の他に直接搬入手数料の見直しや資源化・減量化推進施策の実施も提言しています。市のお手並みに期待しましょう。

さて、有料化に向け家庭ですぐ取り組めるのは、雑がみの分別と台所ごみの減量です。平成29年からコピー用紙や封筒、厚紙なども雑誌で出せます！



台所ごみは段ボールコンポストが推奨されていますが、私の家ではプラスチック製の手回しコンポストを台所に置き、調理くずは直接そこに入れていません。1年以上台所ごみを出していません。もっと簡単に、水切りだけでも減量できますよ。工夫してごみを減らし、有料化を乗り越えましょう！

うべ環境コミュニティー会員



コラム

「多文化共生」って何？



先日、山口県国際交流協会の「多文化共生フォーラム」に参加して色々考えさせられました。多文化共生とは総務省によると、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、ともに生きていくこと」ということです。助ける・助けられるの関係ではなく、ともに受け入れ、ともに望ましい社会を形成していくといった意味合いであるようです。

人口減少と高齢化によって国土保全や産業の維持が難しくなり、山口県においても在留外国人は増え続け、2019年では人口の1.3%近くを占めています。国内外から人を惹きつけられる「もの」や「しくみ」に満ちた、魅力ある地域を築き上げ、観光客や移住者を増やしていくことが地方創生の重要な柱になると思われます。

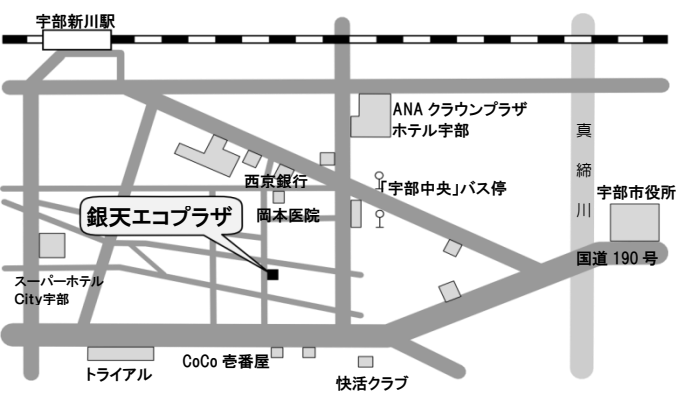
注意しなくてはならないのは、この30年間で、日本の国際的な位置づけは大きく変化しており、外国人から見た場合、もはや、進んだ技術を学ぶとか、高い賃金が得られるといった関心よりも、むしろ、日本の地方の自然や、文化に心の安らぎを得たいというように変わりつつあるようです。



国際協力においても、知らず知らずの間に、状況が変わっているのに気づかず、昔のように日本に進んだ技術やシステムを学びにくるんだなあという感覚は改める必要があると思いました。

これからの国際協力は、貧しい途上国を余裕のある先進国が助けるという、図式ではなく、お互いに理解しあい、持続可能な世界実現のために学びあうというスタンスで臨むべきではないかと考えさせられました。SDGs 未来都市宇部の役割としても、持続可能な世界を目指すためには、発展が著しく遅れている国のみを相手にするのではなく、ある程度発展を遂げた中進国も対象として、お互いに学び合うという姿勢が求められるのではないかと思います。

理事長 浮田正夫



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

◇H30.6.1よりメールアドレスが下記の通り変更になりました◇

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス：<http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）